

標 題 : Adherence to an Energy-restricted Mediterranean Diet Score and Prevalence of Cardiovascular Risk Factors in the PREDIMED-Plus: A Cross-sectional Study
PREDIMED-Plus におけるエネルギー制限地中海食事順守スコアと
心臓血管系危険因子の有病率 : 横断的研究

著 者 : I. Álvarez-Álvarez, et al. (スペイン Instituto de Salud Carlos III (ISCIII)
Centro de Investigación Biomédica en Red de la Fisiopatología de la
Obesidad y Nutrición (CIBEROBN))

掲 載 誌 : Rev.Esp. Cardiol. (Eng. Ed.) 2018 Oct 1. pii: S1885-5857(18)30362-1.

要 旨 :

序論と目的 : 地中海食事の心臓血管系の効能は通常、総エネルギー自由摂取 (エネルギー制限なし) という仮定で評価されてきた。

最近発足した PREDIMED-Plus で、エネルギー制限地中海食事の順守と心臓血管系危険因子の有病率との間の開始時の関連を研究するための、予備解析を我々は実施した。

方 法 : PREDIMED-Plus 参加者全員 (6874 人の過体重/肥満およびメタボリックシンドロームのある高齢成人) の開始時での横断的評価。

参加者を通常のかかりつけの医者が評価して、4 種の血管系危険因子(高血圧、肥満、糖尿病、および脂質異常症)の有病率を確認した。

17 点の PREDIMED-Plus スコアを使用して地中海食事の順守を測定した。

個々および集積した血管系危険因子について、平均値および有病率比率の違いを評価するために多変数モデルを適合した。

結 果 : 地中海食事パターンの良い順守は、低い平均トリグリセリド、BMI、およびウエスト周囲と有意に関連した。

低い順守(17 点中で ≤ 7 点)と比較して、地中海食事の良い順守(11-17 点)は高血圧 (有病率比率=0.97;95%CI 0.94-1.00) および肥満 (有病率比率=0.96; 95%CI 0.92-1.00) と逆相関を示したが、糖尿病 (有病率比率=1.19; 95%CI 1.07-1.32) とは正の関連を示した。

順守の下位 3 段階と比較して上位 3 段階の女性は、血管系危険因子が 3 以上集積することの有意に低い有病率を示した (有病率比率=0.91; 95%CI 0.83-0.98) 。

結 論 : 高い心臓血管系リスクの参加者の間で、地中海食事の順守は、女性の間での血管系危険因子との有意な逆相関、および脂質組成および肥満測定値の改善を示した。

この試験は2014年に International Standard Randomized Controlled Trial Registry (国際標準ランダム化対照比較試験登録) に登録された (ISRCTN89898870)。

著作権 © 2018 Sociedad Española de Cardiología。

Elsevier España, S.L.U.が発行。著作権所有。

キーワード： 脂質異常症、高血圧、地中海食事、肥満、2型糖尿病
